

平成 27 年第 3 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6 月 3 日（4 日・8 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	酒井 正司 (誠颯会)	<p><u>1. プレミアムKマネー（観光経済部長・市民部長）</u> 国の交付金を利用して、地域経済の活性化を目指して発行した、プレミアム K マネーの申込者数及び申込金額はいくらになりましたか。実施された抽選の方法はどのようにされましたか。今後の地域通貨の展開は。</p> <p><u>2. 電気自動車の普及促進を（総務部長）</u> EV、PHVを公用車に導入したり、市民への普及を応援して、省エネや災害時の備えと環境配慮思想の後押しをすべきでは。公共施設にEV用急速充電器を設置し、利用者の利便性を高めるには。</p> <p><u>3. 選挙投票率の向上策を（選挙管理委員会書記長）</u> 最近行われる各種選挙投票率の低下傾向は全国的であり、本市の低下傾向も深刻です。原因をどのように考えていますか。期日前投票所増設の検証結果は。政治教育の必要性については。選挙パスポートを活用しては。</p>
2	小川 富貴	<p><u>1. 25 年後の可児の姿は（企画部長・水道部長）</u> 「可児市公共施設等マネジメント基本方針」が出されました。少子高齢化が進む中での財源不足を、どの様に捉えておられるか。</p> <p><u>2. 介護保険制度の健全性（健康福祉部長）</u> 全国で介護保険の不正請求の問題が起きている。摘発された金額は一年間で 175 億円といわれている。不正を起こさせない為の市の対応をお伺いします。</p>
3	出口 忠雄 (新当クラブ)	<p><u>1. 人格を育む教育の推進について（教育長）</u> 本年 4 月より施行された「改正地方教育行政法」から本市の教育への取り組みについて伺います。</p> <p><u>2. プレミアムKマネー発行事業について（観光経済部長）</u> 平成 27 年 4 月から実施されている「可児市プレミアムKマネー」の現況及び今後の見通しについて伺います。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
4	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 耐震診断と耐震工事の飛躍のためにいすべきこと (建設部長)</u> H18年の耐震化促進法の趣旨により建築基準法改定以降の木造住宅も耐震診断、耐震工事の対象にし、地震対策を推進することを提案する。耐震助成制度とリフォーム助成制度の連携を進め、耐震化事業の推進を提案する。</p> <p><u>2. 新市建設の最終年度の節目に兼山合併の成果と課題を問う (企画部長)</u> 平成17年5月兼山町と合併し10年となる。新市建設計画に示した諸課題は達成されたのか、節目の27年度末にむけて、成果と今後の課題と計画延長の展望について質す。</p>
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 安全保障関連法案についての市長の見解は (市長)</u> 安倍政権が国会に提出した平和安全法制整備法案と国際平和支援法案は、冠した「平和」という名とは正反対の日本を戦争する国へ作り変えるものであり、まさに、「戦争法案」と呼ぶべきもので、廃案にすべきものだ。</p> <p><u>2. 共通番号 (マイナンバー) 制度は本当に安全か (総務部長)</u> 制度開始前から利用対象を拡大する法案が審議されている共通番号制度は、すでに制度導入をしている国では、情報流出や成りすまし犯罪の被害が深刻であると聞く。本当に安心・安全なくみが担保されているのか。</p>
6	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1. ふるさと納税への本市の取り組みや今後の方針を問う (企画部長)</u> ふるさと納税制度変更により、今年から控除額の上限が2倍になるほか、寄付先が5自治体までなら減税手続きの確定申告が不要になった。さらに利用者が増えることが予想される中、本市の取り組みや今後の方針を問う。</p>
7	天羽 良明 (誠颯会)	<p><u>1. マイマイガの発生に備えて有効な対策はあるか (市民部長)</u> H25年6月マイマイガの大発生が新聞報道があり注目していたが地域では今年も更に多いようだが本市の対応と今後の対策は</p> <p><u>2. 遊休農地の活用で地域創生を (市民部長・観光経済部長)</u> H24年から検討が始まった「新たなエネルギー社会づくり」事業の現状と遊休農地を活用した自然エネルギー発電へのサポート支援を求める。</p>
8	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 子ども等の読書活動と図書館について (市民部長・教育委員会事務局長)</u> 読書を通じて「知識の習得のみならず、子どもの心に豊かな感性を育み、人生をより深く生きる力を身につける」取り組みが国をあげて平成13年から本格開始された。可児市の子ども等の読書活動について問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
9	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 本市の職員採用について (市長公室長)</u> 来春卒業予定の職員採用について、就職活動が3か月遅くなり短期決戦と言われている。景気の回復と共に、「売り手市場」と言われている中、可児市の未来を担う優秀な職員をいかに確保するか本市の見解を問う。</p> <p><u>2. 本市の女性職員の登用について (市長公室長)</u> 女性活躍推進法案が国会に再提出された。国は女性活躍推進の指針を作り、自治体は推進計画を策定する。本市の男女共同参画2018の女性管理職登用の目標達成に向けた取り組みを問う。</p> <p><u>3. オープンデータを活用した子育て応援アプリについて (健康福祉部参事)</u> 子育て世代へのスマートフォン向けに情報発信に取り組んでいる自治体を参考に、本市でもビッグデータを活用しながら、子育て応援アプリに取り組んではどうか。</p>
10	中村 悟 (新当クラブ)	<p><u>1. 新たな地域づくり (健康福祉部長・企画部長)</u> 子育て、医療、介護等、地域の役割は増大するばかりである。その要求に対応できる地域づくりが急務と考えるが、市はどう考えているのか。</p>
11	板津 博之 (誠颯会)	<p><u>1. 民活での公衆無線LAN設置はどうなったか (総務部長)</u> 平成25年第2回定例会の私の一般質問において、当時の総務部長から公共施設へのWi-Fiスポット設置について、「民活型での設置を検討していく」との答弁であったが、その後の進捗状況はどうなっているか。</p> <p><u>2. 本市のキャリア教育への取り組みは (教育長)</u> 現在、可児市議会が行っている「地域課題解決型キャリア教育支援事業」は高校生を対象としたものであるが、本市として小中学校におけるキャリア教育についてはどう考え、今後どのように取り組んでいくのか。</p>
12	山根 一男	<p><u>1. 発達障がい児の早期発見・療育に関して (健康福祉部参事)</u> 発達障がいを持つ子どもが増えている。発達障がいに関しては、少しでも早い時期に発見し、適切な療育を受けることが重要である。現在の当市の対応と今後の方針を問う。</p> <p><u>2. 職員によるセクハラ事件への対応及び対策は (市長公室長)</u> 平成23年2月に立派な「セクシャルハラスメント予防・対策マニュアル」をつくり、二度とセクハラ事件は起こさないとしていた本市でまた、セクハラ事件が起きた。その対応と今後の対策を問う。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。